

機械器具 16 体温計
管理医療機器 電子体温計（14032010）
ピッと測る脇下体温計 DT-918

【警告】

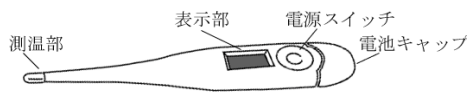
- ・お子様の手の届かない場所に保管してください。
[本体の先端を噛んだり、誤飲やけがの恐れがある。]

【禁忌・禁止】

- ・人以外の検温には使用しないでください。
[ケガをするおそれがある。]
- ・測定結果の自己判断や治療は危険ですので、医師の診断に従ってください。

【形状・構造及び原理等】**〈概要〉**

患者の体温を測定するための測定装置である。本器は、表示ユニットとセンサ及びその他からなり、体温を検出し、ある電気特性（抵抗、電圧等）に変換するものである。このような電気特性は、電子回路内で処理した後、最高温度保持し、体温値としてデジタル表示される。



付属品：収納ケース

外形寸法：130mm×19.5mm×10.8mm 公差：±1mm

質量：約 10g（電池含む）

体に触れる部分の原材料 測温部:SUS304 ステンレススチール
本体：ABS 樹脂

〈電気的定格〉

- ・電源：DC1.5V（LR41 x 1 個）
- ・電池寿命：約 2 年
- ・分類：内部電源機器、BF 形装着部
- ・水の浸入に対する保護の程度による分類：IP22

〈原理〉

本器は、腋下での検温を目的とした装置であり、測温部での温度変化を感温素子により電気量に変換し、集積回路にて演算処理を行い体温値を表示する。検温結果は、常に実測での最高温度値を表示する。

〈仕様〉

- ・測温範囲：32.0～42.9℃
- ・温度精度：最大許容誤差±0.1℃
※標準室温 23℃にて、恒温水槽で実測測定した場合
- ・使用条件：周囲温度 10～40℃
相対湿度 30～85%RH（結露なきこと）

【使用目的又は効果】

測温部を部位に接触させて、腋窩の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示すること。

【使用方法等】

- ①体温計を収納ケースから取り出し、電源スイッチを押します。ピッと音が鳴り、表示部が全点灯します。次に、前回値を表示します。
 - ②「Lo℃」を表示したらわきの下へ挟みます。わきの下のくぼみの中心部へ測温部があたるように斜め下方向（30～45°）から少し押し上げるように体温計を挟み、わきをしっかりとめてください。
 - ③体温を測定します。「Lo℃」から「32℃」に表示が変わり、検温を開始します。
 - ④そのまま検温を続けると、測温部が体温に馴染み一定期間、体温値の変化がなくなったことを検知すると終了予告ブザーが「ピー、ピー」…と 10 回鳴り、℃表示が点滅から点灯に変わります。
 - ⑤その後も測温状態を続けていますので、最低 3 分以上はそのまま検温を続けてください。
- ※正確な検温のためには約 8 分の検温を推奨します。
（測定開始後、約 8 分後の検温値を読み取ってください。）
- ⑥オートパワーオフにより、検温開始から 10 分±2 分後に自動的に電源を切り、消灯します。[37.8℃を超えた場合のお知らせ]
検温値が、37.8℃を超えた場合に、「ピピピ」、「ピピピ」…とブザー

が 10 回鳴ります。（検温値が 43℃以上の場合は「Hi℃」を表示します。）

⑦検温後は、測温部を消毒用アルコールまたはぬるま湯等をしみ込ませしっかりと絞った布等で拭き取り、常に清潔にして収納ケースに戻し保管ください。

【使用上の注意】

- ・汗をかいていると実際より、低い体温を示すことがあるため、汗を拭き取ってから検温すること。
- ・修理、改造、分解は絶対に行わないこと。
- ・超音波洗浄はしないでください。[故障の原因になる。]
- ・使用の前後に必ず本器を洗浄すること。
- ・お子様にご使用の際は、先端の測温部で目を突いたり、電池を誤飲しないよう保護者の監視下で使用する。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談すること。
- ・小さなお子様の場合は、腕の外側から優しく押さえて、体温計が動かないよう気を付けること。
- ・水中に放置したり、水道からの流水に直接あてないこと。[故障の原因になる。]
- ・本器が冷えている場合、本器を室温に十分なじませてから検温すること。
- ・測温部の先端で目を突かないように注意すること。[失明の恐れがある。]
- ・起床、入浴、運動、飲食直後等は、体温が上がっているため、30 分以上時間をあけてから検温すること。
- ・周囲温度が 32℃を超えている場合は、測温部が温まり「Lo℃」を表示しないことがある。その場合は、測温部を水で冷やしてから再度、検温すること。[正しく計測できない恐れがある。]
- ・強くたたいたり、落としたりしないこと。[故障の原因になる。]
- ・火気の近くには絶対に置かないこと。[変形や火災の恐れがある。]

【保管方法及び有効期間等】**〈保管方法〉**

- ・次のようなところに保管しないこと。
 - 1) 高温・多湿、直射日光、ほこり、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受けるところ。
 - 2) 傾斜、振動、重圧、衝撃（運搬時を含む）のあるところ。
 - 3) 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生するところ。
 - 4) お子様の手が届く場所。
- ・保管環境条件：-20～+60℃、30～95%RH（結露なきこと）

〈耐用期間〉

標準的な使用期間の目安：5 年

[自己認証（VEGA 社データ）による]

【保守・点検に係る事項】

- ・測温部先端を消毒する場合は、消毒用アルコールを含ませたガーゼ、布等で軽く拭き取ること。
- ・その他の本体は、消毒用アルコールで拭き取ると変色する場合があるので拭かないこと。
- ・本器は、水、ぬるま湯をしみ込ませしっかりと絞った布または乾拭き等で水気を拭き取り、清掃後に収納ケースへ収め保管すること。
- ・測温部の熱湯消毒や揮発性の液（シンナー等）でのお手入れはしないこと。
- ・長期間使用しない場合は、電池は取り外して保管すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**〈製造販売業者〉**

業者名：株式会社 I C S T
TEL：048-857-8026

〈外国製造業者〉

業者名：VEGA TECHNOLOGIES INC.
国名：中華人民共和国

取扱説明書を必ずご参照ください。